

# JA SOUMA TOPICS

J A 相馬村管内のホット  
ニュースをお届け！

**農作業も本格化！  
注目のトピックスはコレだ！**

## 相馬保育所で食育活動

地域に根ざした女性部

「食」と「農」の大切さ伝える

5月23日、当JA女性部は相馬保育所の農園で食育活動の一環として相馬保育所の園児約30人と一緒に野菜の植え付けを行った。

園児たちは女性部のサポートを受けながらジャガイモやピーマン、ミニトマトなど5種類を植え付け、一人一人が思いを込めて土を被せていた。また、植え付け後には、全員で「大きくなあれ！」と元気いっばいに声を響かせていた。収穫を向える頃の喜びと園児の笑顔が待ち遠しい。



女性部がつくった畝に園児たちが思いを込めて植えた



「援農隊」CMを相馬地区で撮影

## 青空巡回講座

高品質生産に熱意

初期防除の徹底を再確認

5月16日、管内12カ所で開催された今年2回目となる巡回講座が開催された。

今回の巡回講座では、今後の作業や病害虫防除に加え、販売課から29年産りんごの販売動向について説明があった。29年産から見える改善点を踏まえ、生産から販売まで一体となったリンゴ生産に取り組むこととした。



降雨前の薬剤散布が重要



生育状況などに加え、今後の病害虫防除の説明を受ける生産者

相小生が人工授粉体験

開葎ピーク

## 労働力不足解消に向けて 農業を応援する補助労働力を募集



満開のリンゴの花をバックに撮影開始

5月13日、JA相馬村管内のリンゴ園で「援農隊マッチング支援事業」のCM撮影が行われた。当日は、昨年はこの事業を利用して相馬地区のリンゴ生産者のもとで収穫作業を手伝った弘前大学の生徒がCMに出演した。当JAは、今後も引き続き労働力確保に向けて取組を強化する方針だ。

## 目指せ農作業事故ゼロ

5月10日、弘前市や当JAなどを含む関係機関が連携し、農作業安全パトロールを実施した。

近年、中南部地域では農作業事故が多発していることから、生産者らに高所作業台車などを使用する際には、安全確保を徹底するよう呼び掛けた。安全を第一に日々の農作業に取組んで頂きたい。



JA相馬村管内の園地を巡回

## 高品質生産への第一歩学ぶ

5月9日、相馬小学校3年生21名は課外授業として当JA管内のリンゴ園で人工授粉の体験学習を行った。

当日は、当JA農業振興課の蝦名修一課長補佐と青年部の佐久間康幸部長が講師を務めたほか、女性部が児童の人工授粉の作業をサポートした。児童は、梵天を片手に一つでも多くの花に授粉しようと没頭していた。児童は、一生懸命に授粉した花を見て、形の良い最高のリンゴが実ることを楽しみにしていた。



女性部のサポートのもと梵天を使って授粉

## SS授粉で省力化

5月上旬、当JA本所にある開薬所は薬採取機を利用する多くのリンゴ生産者で賑わいをみせた。スピードスプレーヤーを使った交配作業を行う農家が増加傾向にあることから、貯蔵花粉の受付数量も増えている。



薬採取機がフル稼働



薬で埋め尽くされた開薬庫